

科目名 看護倫理 時間割表記名 看護倫理		配当時期 2年次 後期 単位数 1単位 時間数 15 時間(8 回)	講義担当者 甲斐 愛子
事前学習内容 講義に必要なテキストを熟読する。			
授業目標 対象の権利、人として、職業人として関係ある法的背景も踏まえながら、患者の権利擁護とプライバシーについて理解できる。			
DP との関連 DP1. 看護の対象である人間を身体的・精神的・社会的・霊的に統合された生活者として理解することができる。 DP3. 一人ひとりの多様な価値観や人権を尊重し、倫理観に基づいて看護を実践できる。 DP6. 専門職業人としての責任を自覚し、広い視野にたって物事を考え、自己研鑽することができる。			
授業の流れ			
回	学習内容	方法	備考
1	看護倫理とは 1)倫理とは、倫理と道徳 2)看護倫理とは 3)看護倫理を学ぶ意義	講義	テキスト①②
2	専門職としての看護師の倫理的責任 1)看護倫理の歴史的推移 2)徳の倫理、ケアの倫理、原則の倫理 3)専門職としての看護師の倫理的責任	講義	テキスト①②
3	看護職者の倫理規定 看護倫理の諸要素 1)コンパッション(思いやりの心) 2)共感 3)道徳的感受性 4)患者の尊厳 5)アドボカシー 6)パターンリズム 7)個人の権利 8)プライバシーと守秘義務、個人情報保護 9)インフォームドコンセント	講義 ディスカッション レポート	テキスト①②
4 5	倫理的な意思決定 1)看護の場で生じやすい倫理上の問題 2)倫理的な意思決定 (1)臨床倫理の4分割法 (2)4ステップモデル(小西,2005、ICN 一部修正)	講義 ディスカッション	テキスト①②

6	倫理的諸問題における看護師の倫理的判断 1)生命倫理に関する諸問題に対する倫理的意思決定 2)看護学生が遭遇する倫理的諸問題とその解決	講義	テキスト①②
7	看護における倫理 1)看護の領域と倫理 2)倫理的検討の場 3)看護研究と倫理	講義	テキスト①②
8	筆記試験(45分)	試験	テキスト①②
受講上の注意 ○生命倫理の学びも併せて考える。 ○筆記試験、出席状況、ディスカッション時の意見・態度、レポートを総合して評価する。			評価方法 筆記試験 授業態度 レポート
使用するテキスト ①看護学テキスト NICE 看護倫理 南江堂 ②よくわかる看護者の倫理綱領 プチナース編集版 照林社 参考文献 ①看護者の基本的責務 定義・概念/基本法・倫理 日本看護協会出版会			